

平成31年度事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

特定非営利活動法人 ふくやま子ども造形教育研究所

1 事業の成果

本研究所は、具体的な活動として「教員向け実技研修会」「親子造形教室」「学校からの依頼を受けての校内研修や示範授業への講師派遣」「年間活動の集約としての作品展」「作品展表彰式」この5分野とそれらの活動を支える理事会と定例会の組織運営に集約されてきた。

なお、相談役や顧問などのご尽力で、助成金や協賛団体からの寄付も維持拡大されている。

創立6周年の本年度は、第6回作品展と理事会の機能化・ロゴマークの定着・認知などの成果が得られた。他方、定例会の状況などは、引き続き課題である。それぞれの分野の総括は、次の通りである。

(1) 第6回 ふくやま子ども造形教育作品展

- ① 出品総数は、昨年度総力を挙げて募集した第5回記念の4587点から微減したものの4483点と応募数は安定しているものの停滞しているとも考えられる。
- ② 作品の質は、教員向け実技研修会での指導技法が使われた作品や本研究所講師が指導に出向いた学校からの出品が多く、これまでの本研究所の学校等に出向いて活動した成果が反映され前年度より全体的に向上していると実感した。
- ③ 本年度も展示会場の確保について課題となった。昨年度以上に審査会から作品展・表彰式までの期間が短く、審査会を12月（例年は年明け1月上旬）に実施し、計画的な日程を作成し、各作業日程を前倒しながら各理事などの経験値を踏まえた対応によって予定通り終えることができた。
- ④ 作品展展示数を、表彰対象作品に加え「入選」を加え200点に増やしたことは前年度同様来場観客数を増やし、見ごたえのある作品展になった。前回より1日少ない会期ではあったが昨年度700人に対して今年度の668人は、1日の平均で上回っており、本作品展が定着してきた証左と言えよう。
- ⑤ 来観者増は、作品撮影直後に宣伝ポスターを作成し昨年度の反省を踏まえた内容とし、掲示期間が長くなったことも要因の一つと推察される。
ただし、表題に脱字1文字が抜けていたことは次回の反省とする。
- ⑥ 最終日の作品返却割合は前年度に比較して多くなった。
- ⑦ 作品の展示・撤去作業は理事・幹事で行ったが、200点の展示に対して絶対的に人数不足で出席者はしんどい思いをした。
- ⑧ 休憩場所の設置や作品の丁寧な扱いは昨年引き続いて好評であった。

(2) 作品展表彰式

- ① 受賞者の人数を従来より減じ、会場のレイアウトを工夫することで、保護者・担

任等の先生の一般席エリアが広くなり、例年の窮屈さはほぼ解消した。

② 「審査講評」は時間内で密度の高い説得力のある内容であった。「喜びの言葉」は大賞の児童の学校から欠席との通知があり、福山市教育長賞の6年児童が述べたが、当該学校の指導がなされていた素晴らしい内容と態度であった。

③ 対外的謝罪

○ 「福山市立御幸小学校」の「立」が欠落していた。

○ 12月末までの前籍は蔵王小で、三学期から湯田小に転籍した児童の賞状に蔵王小と記してしまった上にコールも同様にした。湯田小校長は会場におられた

(3) 学校に出向く活動

① 今年度の図工科研究校14校（赤坂・瀬戸・内浦・高島・西・手城・桜丘・曙・蔵王・野々浜・新市・山野・御野・駅家）の多くは、本研究所講師が招かれ職員研修が行われた。学校によっては年間を通し、継続的な指導も求められた。指導の責任を痛感する。

② 指導理論と実技指導の両面で、学校からの依頼に応えていく体制をとる。

③ 今年度の活動実績は、要請書に基づいて別紙の通りであった。

(4) 教員向け実技研修会

① 計画通りに6回の研修が実施できた。研修内容が、作品展の出品作品に反映してきている。

② 作品を持ち寄っての交流研修を行ない好評であった。

③ 毎年傾向として平面絵画作品には参加者が多い。

④ 新しい題材として「光を使って」「動く仕組みをつくろう」を開催したが応募者が少なかった。研修会の内容のイメージが捉えられにくかったことと必要性の低さも要因と思われる。

(5) 親子造形教室

① 内容を新しいものに改めたことで、3教室共に定員を超える応募があった。

② 保護者の了解をとって作品展にコーナーを設けて展示できたことは、作品展をより多面的で充実したものにした。

(6) 理事会・定例会などの組織運営

① 理事会は、定例的に開催・協議がなされ、役割分担も明確になって、機能化した。

② 会員の定例会出席数は、拡大理事会程度の状況が続いている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (単位：千円)
定款第5条①	教職員の図工・美術科のスキルアップのための実技研修開催	1:6月8日	駅家公民館	8	36	2.52
		2:8月3日	駅家公民館	7	29	3.255
		3:8月20日	福山市研修センター	5	18	1.955
		4:9月14日	福山市研修センター	7	28	2.058
		5:10月12日	駅家公民館	8	36	2.685
		6:11月9日	駅家公民館	8	18	5.364
定款第5条③	親子造形教室	1:7月28日	福山市生涯学習センター	9	46	受益者負担
		2:8月11日	エフピコ・リム	8	40	受益者負担
		3:8月25日	ローズコム会議室	8	38	受益者負担
定款第5条④	第6回 ふくやま子ども造形教育作品展に係る事業 ・審査会 ・作品展 ・表彰式	12月21日～12月23日	福山市研修センター	25	会員のみ	15.8
		1月23日～1月26日	エフピコ・リム市民ギャラリー	47	892	88.565
		1月25日	エフピコ・リムスカイホール	45	125	271.631

393,853

(2) ~~その他の事業~~

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)
定款第5条①	校内図画工作科研修指導	2019年 5月9日	手城小学校	1	要請者負担

定款第5条① (以下同様)	造形教育研修会指導	2019年 5月23日	みちのうえ子 ども園	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 5月30日	瀬戸小学校	2	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 6月27日	御野小学校	1	要請者負担
	造形教育研修会指導	2019年 7月25日	みちのうえ子 ども園	1	要請者負担
	府中市小・中学校造形研究会	2019年 8月5日	府中学園	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 8月8日	桜丘小学校	3	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 8月27日	藤江小学校	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 9月19日	瀬戸小学校	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 9月19日	桜丘小学校	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 10月8日	桜丘小学校	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 10月15日	駅家小学校	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 10月15日	高島小学校	1	要請者負担
	造形教育研修会指導	2019年 10月17日	みちのうえ子 ども園	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 11月7日	手城小学校	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2019年 11月22日	桜丘小学校	2	要請者負担
	造形教育研修会指導	2019年 12月12日	みちのうえ子 ども園	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2020年 2月13日	桜丘小学校	1	要請者負担
	校内図画工作科研修指導	2020年 2月13日	瀬戸小学校	1	要請者負担

活動計算書

平成 31年 4月 1日 から令和 2年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 ふくやま子ども造形教育研究所

(単位：円)

科 目	金	額
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	60,000	
正会員入会金	2,000	62,000
2. 受取寄附金		
受取協賛金	235,000	235,000
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	100,000	100,000
4. 事業収益		
講師料収入	91,350	91,350
5. その他収益		
受取利息	11	11
経常収益計		488,361
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) その他経費		
印刷製本費	2,808	
通信運搬費	30,887	
事務用消耗品費	43,104	
研修費	500	
交通費等補助金	5,000	
イベント開催諸費	311,534	
その他経費計	393,833	
事業費計		393,833
2. 管理費		
(1) その他経費		
会議費	192	
車両費	17,669	
渉外費	14,730	
雑費	406,314	
その他経費計	438,905	
管理費計		438,905
経常費用計		832,738
当期経常増減額		△ 344,377
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 344,377
当期正味財産増減額		△ 344,377
前期繰越正味財産額		1,116,448
次期繰越正味財産額		772,071

貸借対照表

令和 2年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 ふくやま子ども造形教育研究所

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	772,071	
流動資産合計		772,071
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		772,071
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		1,116,448
当期正味財産増減額	△	344,377
正味財産合計		772,071
負債及び正味財産合計		772,071

財 産 目 録

令和 2年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 ふくやま子ども造形教育研究所
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金 (ゆうちょ銀行 1965799)	772,071		
流動資産合計		772,071	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			772,071
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			772,071 ✓